

科目名		授業形態	担当教員名	
解剖学演習Ⅲ		演習・講義	石橋 保子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
骨と筋、関節の構造と機能を理解し、対象者の運動や動作を理解する上での基礎学力の習得を目指す。骨格標本や視聴覚教材を用いて立体的に理解できるように授業を進める。学んだ内容について口頭試問を実施し理解度の確認を行うことで、実践的な知識の習得を目指す。				
授業の到達目標				
1. 体幹の骨部位の名称を説明できる。 2. 体幹の関節の構造と機能が説明できる。 3. 体幹の筋の起始・停止・作用・神経支配が説明できる。 4. 呼吸運動の仕組みと筋について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	骨の形態と骨部位の名称①			
2	骨の形態と骨部位の名称②			
3	関節の構造と機能、靭帯			
4	口頭試問			
5	筋の起始・停止・作用・神経支配①			
6	筋の起始・停止・作用・神経支配②			
7	呼吸運動の仕組みと筋			
8	口頭試問			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	50%	授業の理解度を評価する		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	50%	口頭試問を行う		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版	野村巖 編		医学書院	
分冊解剖学アトラスⅠ運動器 第6版	平田幸男 訳		文光堂	
基礎運動学 第6版補訂	中村隆一 他		医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				